

第4学年*組 国語科学習指導案

場所
指導者

4年*組 教室
奥沢 志乃

表現力・思考力を育み、共に学び合う授業作り

1 単元名 目的による表し方のちがいを考えよう『広告と説明書を読みくらべよう』

2 単元の目標

- 目的による表し方の違いに興味を持ち、文章を読み比べようとしている。
(関心・意欲・態度)
- 表現の仕方や工夫を比較しながら読み、広告と説明書の違いについて読み取ることができる。
- 広告と説明書について、それぞれの観点に沿ってだいたいな言葉をおさえながら読むことができる。
(読むこと)
- 広告と説明書の違いについて、目的と表し方の結び付きがわかるように言葉を選んで書くことができる。
(書くこと)

3 指導にあたって

(1) 単元観

本単元では、広告と説明書を比べて読む活動を通して、文章には、目的によって表し方に違いがあることを理解し、効果的な述べ方の工夫を読み取る力を付けることをねらいとしている。

本文は、「～に気がつきました。」というところから始まり、「どんな違いがあるか確かめてみよう。」と投げかけて終わり、最後に、資料を載せるという、頭括型の文章構造である。広告と説明書の似ているようで似ていない二種類の文章の書き方や内容を比較・考察することによって、児童は相手と目的の違いによる説明書の書き方の違いをとらえることができる。

(2) 児童の実態(男子*名、女子*名、計*名)

本単元における、「読むこと」「書くこと」に関する児童の実態調査は下記のとおりである。

内 容	結 果
・読書は好きか。	好き *名 ・ふつう *名 (物語文が好き*名・説明文が好き*名)
・ヤドカリとイソギンチャクの関係を読み取れる。	*名
・段落ごとに書かれている内容を正しく読み取れる。	*名
・文章のまとまりを考えながら読み取れる。	*名

本学級の児童は、本好きが多く、熱心に本を読む姿をよく見かける。分野別には、特に物語作品に興味を示す傾向にある。

5月に実施した説明文『ヤドカリとイソギンチャク』の単元では、約*割の児童が、ヤドカリとイソギンチャクの関係を読み取ることができ、また、段落ごとに書かれている内容を正しく読み取れることもできていた。しかし、段落と段落の結びつきをとらえ、文章のまとまりを考えながら読み取る活動では、文と文の接続語のもつ働きや内容を明確に要約する経験と理解の不十分さから生じる誤答が見られた。そのため、要約する目的を明確にし、元の文章の構成や表現の生かし方などを考え、要点や細かい点に注意しながら要約する経験を重ねた学習を大切にしていける必要がある。

(3) 指導観

本教材の重点指導事項は、C読む(1)イ「第3・4学年の「C読むこと」「目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むこと」である。

ここでは、広告のちらしと取り扱い説明書という実生活に即した二種類の文章を取り上げている。二つの文章は、同じ商品について説明する文章でありながら、書かれている事柄や説明の仕方、写真・色・レイアウトなどが大きく異なっている。二つの文章を比べて読むことで、これらの違いを明確にとらえさせ、二つの文章の目的をおさえたいうえでなぜ表し方に違いがあるのかを考える活動を通して、書き手の意図を想像させ目的による表し方の違いやその効果をまとめることができるようにしたい。また、『ヤドカリとイソギンチャク』の単元の読解においては、繰り返し音読する学習を重視して行ったところ、学習内容の理解を深めるためには音読が大変、効果的であるという結果を得た。そこで、本単元の学習にあっても、学習法の一助として、意図的に音読を取り入れた学習展開を図っていきたい。

以上の指導観をふまえ、本時では、図表や絵、写真から読み取ったことを筋道を立てて話したり、話題の中心に気を付けて聞いたり、物事の原因を対比させたりしながら、互いに意見を交流し、話し合える場を多く設定したい。そして、共に学び合う学習を展開しながら、学習への理解を深め、表現する力を高めていけるように促したい。

4 指導と評価の計画(8時間扱い 本時は第5時)

次	時	学習活動及び内容	関	話聞	書	読	言	評価規準(方法)
三	5 本 時	観点に沿って、それぞれの書き表し方を比べ、その効果と書き手のねらいを考え話し合う。			○	◎		・言葉や説明の仕方、写真や絵の使い方を比較し、違いを文章の目的と関係づけて理解している。(発言・つぶやき・ワークシート)

5 本時の指導

(1) 目標

広告と説明書を読み比べ、目的による表し方の違いを理解することができる。

(2) 展開

学習活動	学習形態	指導と評価
<p>1 音読する。 ・ P 66～69を読む。</p> <p>2 本時の課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>「言葉の使い方や説明の仕方」や「写真や絵の使い方」を比べてみよう。</p> </div>	<p>個別</p> <p>個別 ↓ 指名読み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時の学習内容の理解を深めるために、十分な音読の時間を確保する。 ・ 横書きの場合は、左上段から右下段に読み、写真や絵の場合は写っているもの、描かれているものを言語化し、音声にして読むことを再度確認する。 ・ 広告と説明書について、「言葉の使い方や説明の仕方」や「写真や絵の使い方」を比べることを確認する。
<p>3 「言葉の使い方や説明の仕方」や「写真や絵の使い方」について比較し、ワークシートに書き出す。</p> <p>○ 「言葉の使い方や説明の仕方」</p> <p>【広告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大きな見出しがある。 ・ 詳しく書かれている。 <p>【説明書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個条書きで書かれている。 ・ 簡単に書かれている。 <p>○ 「写真や絵の使い方」</p> <p>【広告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 笑顔の家族の写真が大きく載っている。 ・ 商品の全体とアップの写真が載っている。 <p>【説明書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 商品は絵で描かれている。 ・ 使い方は、絵と文で説明している。 	<p>個別 ↓ グループ (3~4人)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 『ヤドカリとイソギンチャク』で学習した共通点と相違点を探る活動の経験をもとに本時では、黄色と水色の二色の付箋紙を使用しながら、「広告」と「説明書」の違いを明確に比べられるようにする。また、読み取る際には、「広告」と「説明書」のそれぞれの観点について、付箋紙と同様の色を活用しながら線を引き、丁寧に読み取っていくようにする。 ・ 同じ商品を取り上げていても、書かれている事柄に違いがあることに気づき、目的と対照させながら、まとめるように助言する。 ・ 「言葉の使い方や説明の仕方」については、手引きを参考に「商品の特徴」に観点を絞り、それぞれ視写させることで、タイトルの有無や文の長さ、説明の詳しさなどに気付かせる。 ・ 「写真や絵の使い方」については、写っているものや描かれているものを言語化し、それぞれどんな役割や効果があるかを考えさせるようにする。 ・ 違う理由に気付けない児童には、目的や伝える相手を再度、ふり返り読む人にとって、何が大切な情報なのかを考えさせる。
<p>4 広告と説明書の表し方の違いについて話し合い発表する。</p> <p>○ 「言葉の使い方や説明の仕方」</p> <p>【広告】 【説明書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 詳しく説明 ・ 簡潔に説明 <p>○ 「写真や絵の使い方」</p> <p>【広告】 【説明書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 写真 ・ 絵 ・ イメージを伝える ・ 説明を補う 	<p>グループ ↓ 一斉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 表し方の違いはどんな効果をねらったものなのかを考え、「なぜ、このような違いがあるのだろう。」という言葉投げかけながら目的や相手、書き手の意図と関連付けて話し合えるように促す。 ・ 話し合い活動に入れない児童には、友達の考えを参考に、青鉛筆でノートにメモを取るよう助言する。 ・ 発表の際は、比較した違いの根拠となる理由を明確に持って、順序よく発言できるように声をかける。
<p>5 自分の考えをワークシートにまとめる。</p>	<p>個別</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 書き手の意図を想像しながら、目的による表し方の違いやその効果を詳しくまとめることができるように助言する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-top: 10px;"> <p>【評価】 広告と説明書の言葉の使い方や説明の仕方、写真や絵の使い方を比較し、その違いを文章の目的と関係づけて理解することができる。 (発表・つぶやき・ワークシート)</p> </div>